

(2) 木工チャレンジコンテスト部門 (※7月15日訂正版)

【製作部門】

『課題』

与えられた材料を活用して、生活や社会の問題を木工の技術により解決できる作品を設計・製作すること。ただし、以下の(1)設計・製作条件を満たすものとする(構想作品の例:高齢者又は幼児のための作品、学校又は家庭で役立つ作品など)。

(1) 設計・製作条件

- ・個人で設計・製作すること。
- ・作品は、製作時間3時間30分以内で完成できること。
- ・使用できる材料は、木材あるいは集成材の板(寸法t15×W200×L900:数量2枚)と合板1枚(t4×W450×L450:数量1枚)とする。これら以外は、接合金具(釘、木ねじ、ボルトナット、ノックダウン金具、補強金具、蝶番)及び取手、フック、マグネットキャッチのみ使用可とする。機械による部品加工は行わない。
- ・作品の大きさは、3辺の合計長さが160cm以内とする。
- ・作品製作終了後に、自分の製作した作品についてのプレゼンテーションを行う。
- ・本選における材料等については、大会事務局で準備する。(木材の種類は変更する場合がある。また、接合金具(釘、木ねじ、ボルトナット、ノックダウン金具、補強金具、蝶番)及び取手、フック、マグネットキャッチにおいては、釘(真鍮 32mm・38mm)以外は参加者が用意する。
 - ※フェア事務局が用意する工具以外は使用禁止とし、持ち込みも不可とする。
 - (ただし、ドライバーなど接続金具を取り付けるための工具は持ち込み可とする。)
 - ※事務局で準備する工具等:さしがね、直角定規、けびき、両刃のこぎり、平かんな、釘抜き、げんのう、追入のみ(9・15mm)、Cクランプ、削り台、四ツ目ぎり、三ツ目ぎり、はたがね、木工用ボンド、研磨紙、木工万力(一人1台)、タオル、雑巾、端材、バケツ、ビニール袋、ミニボール盤(ボルト、木ねじ等の下穴あけのみ使用可)
- ・製作工程において、さしがねによるけがき、両刃のこぎりによる切断、平かんなによる部品加工、くぎ打ちによる組み立て、直角定規等による検査、紙やすりによる仕上げ作業を含むこと。
- ・以上の条件を満たす作品の構想図(等角図またはキャビネット図)で予選を行う。

なお、この課題は全国大会の作品募集に準ずる。
- ・出場者は、大会当日に材料費を徴収する。(3000円~3500円程度)
- ・その他連絡事項について
 - ※各都道府県より代表1名を推薦する。

[本年度、全国大会の参加締め切りが11月30日となっており、県フェア(略称)の結果、優秀生徒1名を全国大会に推薦する。]
 - ※全国大会推薦者の中学校は、応募規定、個人準備、支給材料、会場準備工具などを、全日中のWebページで要項を確認し中学校側で応募すること。

(全日中 web <http://www.ajgika.ne.jp>)

<参加申し込みの方法>

- 課題の条件を満たす作品の構想図(A4のケント紙を使用)と応募所(全日中 webページよりダウンロード)を9月9日(金)までに下記の担当者宛にお送りください。(ミスを防ぐために、簡易書留での郵送をお願いします。)
- 審査の結果、本選出場(大会会場での競技)が決定した場合、担当より競技について連絡があります。(本選の定員は最大16名で、原則として出場は各学校2~3名までです。

ただし応募人数には規定はありません。)

【アイデア部門】

※各中学校ごとに1点で、中学校より直接応募する。(全日中のHPで必ず確認する。)

★担当者(問い合わせ先)
〒243-0213 厚木市飯山2367
厚木市小鮎中学校 総括教諭 清水 匠(書記)
TEL 046-241-1428 FAX 046-241-3130